

著書及び論文リストの記述方法について

和文のフォント：9ポイント／明朝体

欧文のフォント：9ポイント／Century(設定不可の場合は別フォントで記述しその旨を事務局に通知)

論文リスト記述順と区切り記号：

執筆者1, 執筆者2, 執筆者3：論題. 掲載誌名, 巻(号), 開始頁-終了頁, 出版年.
巻(号)の号については、学会の慣例によって巻のみとしても良い。

学会抄録集等リスト記述順と区切り記号

著者名：論文名. 会議報告書名, 会議開催地, 会議開催年, 会議主催機関名, 出版年.

著書リスト記述順と区切り記号（1冊全て執筆の場合）：

執筆者1, 執筆者2：書名. 出版社名, 出版地名, 出版年.

著書リスト記述順と区切り記号（1冊の一部を執筆の場合）：

執筆者1, 執筆者2：執筆部(章)名, 書名. 出版社名, 出版地名, 開始頁-終了頁, 出版年.

論文リスト（和文）の記述例：

千科大太郎, 岡理大太郎：銚子市における薬剤師の育成について. 月刊薬剤師教育, 108(8), 55-70, 2012.

論文リスト（欧文）の記述例：

Taro Yamada, Hanako Yamada, Taro Chikadai：Affair of the Educational Programs on Emergency Management at the Chiba Institute of Science. Education in Japan, 5(11), 111-120, 2012.

学会抄録集等リスト（和文）の記述例

千科大太郎：銚子における整形外科について. 第79回日本整形外科学会学術総会抄録集, 横浜, 2006.

学会抄録集等リスト（英文）の記述例

A Arnold：Gateways to chemical information - the MetaChem and Janus Projects down-under. ChemInt'99, Washington D.C., 1999-09.

開催年は、YYYY とする。(必要があれば、開催月を YYYY-MM と記す。) 出版者は、会議主催機関名と同じ場合は省略してもよい。出版年は、会議開催年と同じ場合は省略してもよい。

著書リスト（和文）の記述例：

千科大太郎, 岡理大太郎：銚子市の薬剤師育成を考える. 桜出版, 東京, 2012.

千科大太郎：第3章 銚子市の薬剤師育成, 薬剤師とその育成. 桜出版, 東京, 170-220, 2012.

著書リスト（欧文）の記述例：

Taro Chikadai, George Smith：Emergency Management. SpringWorks, Washington D.C., 2012.

記述上の注意：

- ① 和文の場合、著者名の姓名の間は空白をあけない。欧文の場合、著者名は“名 姓”の順に記述し、名姓の間は半角スペースをあける(名はイニシャルのみの表記でも良い)
- ② 著者名の記載人数は制限を設けないが、4名以上の場合は3名以上を記載し、それ以上の著者名について、和文の場合は“ほか”と、欧文の場合は“..”と略しても良い
- ③ 学内者(常勤の教職員)の著者名部分(複数名いる場合は全員)に下線を引く。学部学生・大学院生・非常勤の教職員には下線を引かない
- ④ 和文の場合、次の区切り記号(., :) (ピリオド カンマ コロン)は全角表記とする。欧文の場合、次の区切り記号(. ,) (ピリオド カンマ)は半角表記+半角スペース1字とし、(:) (コロン)は半角スペース1字+半角表記+半角スペース1字とする
- ⑤ 次の記号(- ()) (ダッシュ 右括弧 左括弧)は和文・欧文を問わず半角表記とする
- ⑥ 和文・欧文を問わず、雑誌名・書名は略記せずに正式名を記述する
- ⑦ “Epub ahead of print”など、刊行前にオンラインで掲載されたものは記載せず、刊行された年に記載する
- ⑧ 国際学会等で発表した場合は、学会抄録集等リストの記述法に従って記載しご提出ください。提出する内容は、国際学会や全国規模の学会での発表を主とし、CIS フォーラムの様な千葉科学大学内での発表はご遠慮ください。